



職人たちをうならせる 工業用刃物



株式会社三和製作所

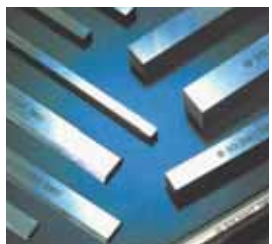
超硬・ハイス…… 2万種の工業用刃物に対応

昔ながらのろう付けバイトから最近主流の完成バイトまで、用途に応じた工業用刃物を作っているのが三和製作所だ。取り扱い品種は多く、超硬バイト、ハイスバイト、各種刃物等2万種まで対応可能。特にろう付けバイトは、大手企業が撤退したため、国内外の需要を一手に引き受けている。

「需要が減っているのですが、ゼロにはならない。求めている人がいる限り、提供するのが当社の使命だと思っています」と語る渡邊博工場長の言葉は力強い。製品の精度や品質の高さは海外でも定評があり、売上は前年比を5%アップしている。

ソルトバスを用いた用途に合った処理技術

また同社は、鍛造から仕上げまで刃物の持つ特性を考えた生産工程を誇る。特に熱処理に使うソルトバスを持ついるメーカーは、大阪では同社だけ。熱処理業者は材料に合わせた処理をするが、刃物を知り尽くしている同社では、用途に合わせて



た処理を施す。その仕上がりは耐久性や切れ味だけでなく姿形も違ってくるという。使う職人たちのうなされる仕上がりを誇っているのもうなずける。

そのこだわりは営業にも現れている。「顧客のところに outgoing、何に使うのか、どんな頻度で使うのかを聞いてきます。代理店任せにせずに、さらにいい提案をするためです」と千地克典社長。生産工程に立ち合いデータをとり、提案プランを考える。その結果、生産性が150%上がった顧客もあるという。

必要量を必要時に生産

「不況をチャンスに」と千地社長の経営方針で、平成18年から5か年計画で生産体制を変えてきた。まとめて作る大量生産から、必要な物を必要な時に必要な量だけ提供する方針に変更したのだ。

体質改善を2年半で遂行し、在庫量は半分以下に削減した。材料在庫も工場敷地面積の7%以下と非常に低い。「広々とした工場内を見ただけ意欲から、おたくは大丈夫なのか? と心配されることもあるが、中間仕掛かりが従来の10分の1。スタートしてから完成まで一貫して流れるように工程を組んでいるので、かえってスムーズに進んでいます」と渡邊工場長は話す。

従業員は複数の機械を掛け持ちできる多能工として教育し、年齢や社歴、男女差ではなく能力に応じた待遇に変更、賞罰も明確にすることで、工場内にはいい緊張感が生ま

れている。ミスは激減し、クレームもゼロだ。「技術の平準化」を達成するために、取り扱い品種を基本の2千種に絞り、後は応用させる方策を採った。工程をシンプルにし、納期や仕上がりのばらつきを防いでいるのだ。それらの改善が功を奏し、同社は順調な発展を見せている。

主な事業内容

ハイス付刃物、超硬付刃物、完成刃物、木工・食品・樹脂用刃物、環境関連刃物、各種工具の設計・製作・販売等



ちくち 千地 克典さん
代表取締役社長



わたなべ 渡邊 博さん
工場長

株式会社三和製作所

Company Profile

住所 / 〒597-0033
大阪府貝塚市半田377
創業 / 昭和6年6月
設立 / 昭和32年2月
資本金 / 1,950万円
従業員 / 25名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-426-0564
FAX / 072-426-2658



<http://www.sanwa-bits.com/>